

平成 27 年度

事業報告及び決算書

(自平成 27 年 4 月 1 日・至平成 28 年 3 月 31 日)

公益財団法人八千代市環境緑化公社

平成 27 年度事業報告

事業報告書

公益法人に移行し3年目の平成27年度は、市における緑の都市宣言の推進母体として「市民の皆様の自発的・積極的な参加と協力を得て、環境緑化の推進と良好な環境の保全を図りもって、安らぎと潤いのある健康的で住みよいまちづくりを推進する。」ことを目的に、第1次総合経営計画に沿って多くの事業に取り組みました。

まず、環境緑化の推進においては、サルビアやパンジーなど自社で育成生産した花苗生産事業の実施及び生産した花苗を花と緑の街づくり活動を推進している自治会や市民ボランティア団体等に年2回の配布を行う花苗配布事業を実施しました。また、コミュニティ空間を演出するフラワーポットの配置や肥料等資材の購入を支援する花いっぱい事業助成金の交付など、市民団体等の緑化に関するボランティア活動を積極的に支援しました。

さらに、環境と緑化意識の両面から、新たに希望する幼稚園や小学校に琉球アサガオを使用したグリーンカーテンを保護者の方など関係者と一緒に設置したほか、既に設置済みの保育園及び小学校には補修作業などのサポートを行いました。

このほか、地域に根ざした公園等の美化活動として、グリーンサポーターとの協働により取り組んでいる村上緑地公園や萱田地区公園での花の植栽活動事業を実施しました。

また、開花時期に合わせ花のフェスティバル実施事業として、春の「スイセンまつり」や初夏の「ユリまつり」、初秋の「彼岸花まつり」を実施しました。まつりの期間中は多くの市民の皆様に観賞していただきました。この事業が市民の皆様に評価され、関心が高まっている傾向として、当公社主催の「花と緑の写真コンクール」にスイセンやユリ、彼岸花の写真が多く寄せられるようになりました。

次に、経営基盤の強化に向けての取り組みとして、賛助会員の加入促進を図るほかイベント時の募金活動を積極的に行ってまいりましたが、加えて当公社が直面する課題への対応を図るため、平成28年度から平成34年度までを期間（うち3か年の集中改善期間）とする（公財）八千代市環境緑化公社経営改善計画を策定しました。

以上、各事業については概ね計画どおりに実施することができました。

I 環境緑化公社の管理運営

1. 役員の異動と理事会

(1) 理事の異動

就任

平成 27 年 5 月 14 日付 天川一夫 荒木健一 石原敏行 大塚義夫
白瀧嘉子 竹之内正一 田中宏行

退任

平成 27 年 5 月 14 日付 加藤賢三

(2) 監事の異動

就任

平成 27 年 5 月 14 日付 渡邊一正

退任

平成 27 年 5 月 14 日付 高橋次男

(3) 理事会の開催経過

区分	審議事項
第 1 回理事会 H27. 4. 27 教育委員会庁舎 第 1 会議室	議案 1. 平成 26 年度公益財団法人八千代市環境緑化公社事業報告及び決算の承認について 2. 平成 27 年度第 1 回定時評議員会の開催について 報告事項 1. 平成 27 年度事業執行計画の報告について 2. 公益財団法人八千代市環境緑化公社事務局規程の一部改正及び関連する諸規程等の一部改正について 3. 経営改善計画策定会議設置規程の制定について
第 2 回理事会 H27. 5. 14 教育委員会庁舎 第 2 会議室	議案 1. 理事長及び常務理事の選定について 2. 理事長の報酬の額について

<p>第 3 回理事会 H27.9.28 教育委員会庁舎 第 1 会議室</p>	<p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (公財)八千代市環境緑化公社経営改善計画(案)について 2. 平成 27 年度第 1 回臨時評議員会の開催について
<p>第 4 回理事会 H27.10.27 教育委員会庁舎 第 1 会議室</p>	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度事業執行計画の報告について
<p>第 5 回理事会 H28.2.15 市民会館 第 6 会議室</p>	<p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 変更認定申請について 2. 平成 28 年度事業計画書，収支予算書及び資金調達，設備投資の見込みについて 3. 公益財団法人八千代市環境緑化公社前期経営実施計画の変更について 4. 公益財団法人八千代市環境緑化公社経営調整基金規則の制定について 5. 公益財団法人八千代市環境緑化公社草刈り業務の実施に関する規則の制定について 6. 平成 27 年度第 2 回臨時評議員会の開催について
<p>第 6 回理事会 H28.3.28 教育委員会庁舎 第 1 会議室</p>	<p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長及び常務理事の報酬の額について 2. 公益財団法人八千代市環境緑化公社職員の給料の臨時特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について 3. 公益財団法人八千代市環境緑化公社職員給与規則の一部を改正する規則の制定について 4. 「(公財)八千代市環境緑化公社経営改善計画について」の通知文書の対応について

報告事項

1. 公益財団法人八千代市環境緑化公社会計規程の一部を改正する規程について
2. 公益財団法人八千代市環境緑化公社賛助会員に関する規程の一部を改正する規程について
3. 公益財団法人八千代市環境緑化公社職員の管理職手当に関する規程の一部を改正する規程について
4. 公益財団法人八千代市環境緑化公社職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規程の一部を改正する規程について
5. 公益財団法人八千代市環境緑化公社草刈り業務の実施に関する規則における草刈り業務の区域の範囲について
6. 公益財団法人八千代市環境緑化公社草刈り業務追加料金規程の制定について

2. 評議員の異動と評議員会

(1) 評議員の異動

該当者なし

(2) 評議員会の開催経過

区分	審議事項
第1回定時評議員会 H27.5.14 教育委員会庁舎 第1会議室	議案 1. 平成26年度公益財団法人八千代市環境緑化公社事業報告及び決算の承認について 2. 役員を選任及び解任について 報告事項 1. 平成27年度事業計画書, 収支予算書及び資金調達, 設備投資の見込みについて
第1回臨時評議員会 H27.9.28 教育委員会庁舎 第1会議室	報告事項 1. (公財)八千代市環境緑化公社経営改善計画について
第2回臨時評議員会 H28.2.23 郷土博物館 学習室	議案 1. 公益財団法人八千代市環境緑化公社経営調整基金規則の制定について 2. 公益財団法人八千代市環境緑化公社草刈り業務の実施に関する規則の制定について 報告事項 1. 変更認定申請について 2. 平成28年度事業計画書, 収支予算書及び資金調達, 設備投資の見込みについて 3. 公益財団法人八千代市環境緑化公社前期経営実施計画の変更について 4. 「(公財)八千代市環境緑化公社経営改善計画について」の市からの通知について

II 公益目的事業

1. 環境緑化の推進と緑の保全

(1) 緑化の推進

緑の保全及び緑化に関する市民意識の高揚を図り、市民の自発的、積極的な参加と協力により緑化の推進に取り組みました。

① 樹木等の植栽事業

ア. 勝田台コミュニティ道路や八千代緑が丘駅前など、市内に設置したフラワーポット 98 基に新たに公社プレートを取り付け、6月にベゴニアを、12月にパンジーを植栽し、適切な維持管理を行うことで、人々の目を楽しませ、生活環境の向上を図るなど、花と緑に囲まれ、安らぎと潤いのある健康的で住み良い街づくりに努めました。

区 分	フラワーポット設置数	ベゴニア	パンジー
勝田台コミュニティ道路	角型 50 基	500 本	500 本
萱田 2234 地先	角型 12 基	120 本	120 本
八千代市役所北側通路	角型 13 基・丸型 9 基	310 本	310 本
八千代中央駅	角型 10 基	100 本	100 本
八千代緑が丘駅	丸型 4 基	80 本	80 本
合 計	角型 85 基・丸型 13 基	1,110 本	1,110 本

イ. 住宅や事業所に新たに生垣を設置する場合や、ブロック塀から改修をする場合に助成する生垣設置事業助成金交付金について、2件 40,000 円を交付しました。

ウ. 市民団体等が公益性のある場所に花壇やフラワーポットを設置し、花苗の植栽など積極的に行っている緑化活動を支援するため、延べ 7 件 385,900 円の花いっぱい事業助成金を交付しました。

区分	団体等名	実施場所	交付金額
1	ふれあい花いっぱい運動	ふれあいプラザの道路	30,000 円
2	野村長寿会花の会	野村住宅中央通り正面花壇	121,900 円
4	おおわだ朝顔会	大和田公民館	28,600 円
5	米本南自治会花の会	米本南第 1 公園	32,100 円
6	一本松町内会	一本松団地外周花壇等	10,900 円
7	八千代台自治会	八千代台自治会域内 7 ヲ所花壇	76,600 円
8	八千代台駅前商店会	八千代台東 1-15-3	85,800 円

② 機関紙の発行・ホームページの掲載事業

機関紙「花と緑」の発行及びホームページへの掲載による市民への情報提供と緑化の啓発を行いました。

機関紙「花と緑」第3号は、平成27年度に取り組む主要業務の紹介をはじめ賛助会員の募集などを6ページにまとめ、自治会を通して、各世帯に配布するほか、未加入世帯への対応として、市役所及び公民館9カ所に配架しました

このほか、年間を通して講習会や花のフェスティバル等、機会をとらえ啓発に努めました。

区分	項目	
機関紙	「花と緑」第3号	49,000部
ホームページ	事業概要，講習会の告知や事業内容紹介等	随時提供

③ 緑の講習会等事業

ア. 市民の緑化意識と技術の向上を目的に、子どもから大人まで、幅広い市民の方々を対象に、地域の公民館等の会議室等を使用し、各種の緑の講習会を実施しました。

区分	講習会	参加者	開催場所
6月	多肉植物の寄せ植え講習会	23人	大和田公民館
7月	ハンギングバスケット講習会	16人	八千代台東南公民館
8月	夏休み 子ども緑化体験教室	6人	生涯学習プラザ
10月	バラのオーガニック栽培講習会	19人	生涯学習プラザ
1月	バラの剪定と植え替え講習会	14人	睦公民館
2月	ベランダガーデニングを楽しむコツ	20人	阿蘇公民館
3月	春まきの一年草を育てる花づくり	25人	緑が丘公民館
企画回数：7回		参加者 123人	

イ. 市民の緑化に対する知識の醸成と対応技術の向上を図るため、毎月第4木曜日を「緑の相談日」とし、緑の相談員により市民からの緑化に関する相談に応じました。相談件数：81件(電話45件，面談35件，FAX1件)

区分	相談の傾向
春	ミズナの種まき時期やデンドロウムの株分けなどについて多く見られました。
夏	害虫駆除の方法や植物が育たないとの質問が多く寄せられました。
秋	シロバナやカトレアの花が咲かない，花芽が付かないという質問などが寄せられました。
冬	クンシランの寒さ対策などについて質問が寄せられました。
総括	市民からの相談も，四季を通じた多様な植物の相談が寄せられ，関心の高さが伺えます。また，内容も害虫駆除や株分け，花芽を付ける方法など様々で，技術的・専門的な質問も増え市民の緑化意識の高さが伺えました。

④写真コンクール事業

緑豊かな潤いと安らぎが感じられる身近な生活空間を被写体として「花と緑」をテーマとした，緑化推進の普及啓発を目的とする「花と緑の写真コンクール」を10月に実施し，多くの応募作品の中から，入賞作品9点及び審査員特別賞4点を選定しました。

また，入賞者への表彰を行うとともに，入賞作品等をフルルガーデン八千代2階ベーカーズストリート跡に展示しました。

また，市内の公民館9カ所に，各2週間展示をしました。

区分	入賞	作品のタイトル	氏名	
個人部門	一般の部	最優秀賞	スイセンと桜のコラボ	黒川正敏
		優秀賞	空いっぱい桜	岩原拓
		優良賞	里の春	吉田茂夫
		審査員特別賞	新川花曇り	内藤寛
		審査員特別賞	レイクキャリー	佐多真知子
	子供の部	最優秀賞	秋のおとずれ	井田早紀
		優秀賞	学校の花だん	寺内歩見
		優良賞	学校生活を彩る紅	栗山晴菜
		審査員特別賞	緑の中のお寺	須藤浩大
		審査員特別賞	緑に囲まれる彼岸花	飯嶋心結

団体部門	団体の部	最優秀賞	ペチニア大きくなあれ!!	八千代市立村上小学校 5, 6年生栽培委員会
		優秀賞	メトロタウンに春が来た	一本松町内会
		優良賞	緑葉	八千代松陰高等学校

⑤ 緑のカーテンづくり事業

緑の普及と地球温暖化防止等，環境と緑化の両面から琉球アサガオなどを使った緑のカーテンづくりを行いました。

また，既に設置済みの保育園等にサポートを行いました。

区分	設置及びサポート場所	作業日	ネット枚数	苗数	参加人数	備考
新設	八千代台東小学校	5月22日		16株	4人	植栽
	米本南小学校	6月10日	4枚	8株	4人	
	西高津小学校	7月6日	3枚	10株	6人	
	大和田南小学校	6月26日	2枚	6株	5人	
	新木戸小学校	7月1日	2枚	8株	3人	
	萱田小学校	6月29日	4枚	8株	5人	
	市川学園	7月7日	2枚	4株	3人	
	明青幼稚園	7月7日	特大1	12株	6人	
サポート	ゆりのき台保育園	7月4日		8株	5人	補修
	みつわなかよし保育園	6月初旬			4人	補修
	八千代台東小学校	6月12日				相談

⑥ 堆肥づくり事業

堆肥づくりマニュアルをもとに，公園の落ち葉と脱水汚泥，米ぬか，コーランを混合し堆肥づくりを行いました。

区 分		数 量	制作期間及び手順		堆 肥
使 用 材 料	公園の落ち葉	1.944 m ³	12 月 ～ 2 月	① 落ち葉の収集 ② 落ち葉と脱水汚泥の混合 ③ 米ぬか及びコーランの投入	1,2960
	発酵剤コーラン	2 kg			
	米ぬか	30 kg			
	脱水汚泥	1.944 m ³			

⑦ 行事への参加事業

5月に開催された「緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ」に参加し、来場者には花の種の配布や、バラの花が開いた形状に似ているヒマラヤスギの実を使ったコサージュづくりを体験していただくことで、市の花「バラ」の普及や緑化の推進を図りました。

また、10月に開催された公民館まつりでは、8ヵ所の公民館に参加し、花苗や花の種、緑化パンフレット等の配布をはじめ、マツボックリを使ったミニクリスマスツリーづくりを体験していただくなど、緑化の啓発に努めました。併せて、募金活動を行いました。

⑧ 花のフェスティバル実施事業

グリーンサポーター（市民ボランティア）と協働で植栽した球根の花の開花時期に合わせ、村上緑地公園では「ユリまつり」及び「彼岸花まつり」を、また、萱田地区公園では「スイセンまつり」を実施し、それぞれ観賞会を行いました。

八千代市のイメージキャラクター「やっち」のストラップやぬいぐるみ、更に竹細工を活用し募金活動を行いました。

区 分	まつり期間	観賞会		備 考	
		期 間	来場者数		
ユリまつり	6月中旬～ 7月下旬	7月12日～ 7月20日	267人	約7千本 (8種類)	村上緑地公園
彼岸花まつり	9月中旬～ 10月上旬	9月19日～ 9月27日	386人	約6万本	村上緑地公園
スイセンまつり	3月中旬～ 4月中旬	3月26日～ 4月3日	704人	7万5本 (8種類)	萱田地区公園

⑨ 検討事業

ア. 記念樹木の配布事業

記念樹木の配布事業は、市民ニーズや収益性等を鑑み計画から除くこととしました。

(2) 緑の保全

緑の保全及び緑化に関する市民意識の高揚を図り、市民の自発的、積極的な参加と協力による緑化の推進に取り組みました。

① 検討事業

ア. 庭木のリサイクル事業

庭木のリサイクル事業は、市民ニーズや収益性等を鑑み計画から除くこととしました。

イ. 谷津・里山整備業務

谷津里山の保全活動に向けて森林体験や生活体験など、公社が提案できる活動内容について検討してきましたが、市において平成28年度谷津里山保全計画の見直し作業が行われるため、平成28年度に八千代市の環境保全計画のプロジェクトに参画し、自然と共生するまちづくりに向けて協議することとしました。

2. 地域に根ざした公園等の美化活動

(1) 公園等花と緑の植栽・維持管理

公園等を活動の場としてとらえ、市民団体等との協働により地域性豊かな特色のある花と緑に囲まれた公園づくりに貢献しました。

① 魅力ある公園づくり事業

四季を感じる公園としたコンセプトを基に、ユリや彼岸花のほか、既存の桜・アジサイ・イチョウ並木などを活かしたランドデザインを検討していましたが、事業の整理統合が必要と考え、「指定管理者業務への取り組み」と一体として取り組むこととしました。

② 市民協働による公園の花の植栽活動事業

ア. 村上緑地公園は、初夏に咲くユリと初秋に咲く彼岸花の球根をグリーンサポーター延べ110人と協働で植栽しました。また、ユリにあつては

平成 26 年度に病気が発症し発芽状況が思わしくなかったことから、平成 27 年度はこれまでの球根を掘り起こし、新たに土壌づくりを行いました。

また、掘り起こした既存の球根に加え、ヤマユリ、シーラのほか、パッションに変えてコンカドール、ローヌに変えてラベンナを購入し植栽しました。カサブランカのエリア跡には、試験的にスカシ系の 10 種類の球根（3,200 球）を植栽しました。

種類		植栽数	
ユリ	オリエンタル系	ヤマユリ	300 球
		シーラ	465 球
		コンカドール	300 球
		ラベンナ	300 球
		既存数	2,344 球
		計	3,709 球
	スカシ系	ブルネロ	300 球
		アイライナー	300 球
		ロリポップ	200 球
		ピンクブロッサム	400 球
		アーセナル	400 球
アルバタックス		300 球	
ロイヤルサンセット		300 球	
レッドツイン		300 球	
ストロベリーバニラ		300 球	
サマーブリーズ		400 球	
計	3,200 球		
合 計		6,909 球	
彼岸花		17,000 球	

イ．萱田地区公園は、池を囲む散策路の斜面に春の訪れを可憐な花と香りから楽しんでいただけるよう、平成 27 年度は日本スイセンエリアの拡充及びガーデンジャイアント、バンダムの補植をグリーンサポーター延べ 40 人と協働で植栽しました。

種類		植栽数
スイセン	単咲スイセン(バンダム)	1,000 球
	大輪スイセン(ガーデンジャイアント)	9,100 球
	房咲スイセン(日本スイセン)	25,400 球
計		35,500 球

②花のフェスティバル実施事業(再掲)

グリーンサポーター(市民ボランティア)と協働で植栽した球根の花の開花時期に合わせ、村上緑地公園では「ユリまつり」及び「彼岸花まつり」を、また、萱田地区公園では「スイセンまつり」を実施し、それぞれ観賞会を行いました。

八千代市のイメージキャラクター「やっち」のストラップやぬいぐるみ、更に竹細工を活用し募金活動を行いました。

(2)新川千本桜等花と緑の景観形成

八千代市のシンボルである新川の水辺空間に、美しい桜並木の景観の創出と新川千本桜の育成活動に努めました。

①新川千本桜育成活動事業

新川千本桜のボランティア団体等の協力のもと、枯損木の補植や、桜の周りの草刈り、剪定枝や倒木などの回収や害虫駆除などの活動に取り組みました。

- ・草刈り：4月から10月、両岸2往復
- ・剪定枝回収：2回実施
- ・倒木回収：4回実施
- ・害虫駆除：4月に1回実施

3. 緑に関するボランティア活動の支援と人材の育成

(1)活動支援

花と緑による街づくりを推進している、市民団体等の積極的な緑化活動に対して支援しました。

①花苗等配布事業

ア. 市民への緑化意識の啓発と、自発的な緑化活動を支援するため、年2回、3種類の花苗を延べ195団体に配布しました。

区 分	6 月		12 月	
	配 布 団 体 数	種 類	配 布 団 体 数	種 類
自治会	17	サルビア 4,420 本 小菊 1,610 本	15	パンジー 3,525 本
緑化団体	30	サルビア 8,683 本 小菊 3,716 本	32	パンジー 9,383 本
公共団体	10	サルビア 1,472 本 小菊 353 本	13	パンジー 2,913 本
幼稚園・保育園	8	サルビア 1,320 本 小菊 522 本	9	パンジー 1,248 本
小学校	20	サルビア 9,426 本 小菊 1,967 本	21	パンジー 8,162 本
中学校	10	サルビア 2,679 本 小菊 1,732 本	10	パンジー 2,769 本
合 計	95	サルビア 28,000 本 小菊 9,900 本	100	パンジー 28,000 本

イ. 市の花「バラ」の普及を目的とする新築一戸建住宅入居世帯に対し、バラ苗配布にあっては申請のあった4世帯の方に苗木を贈りました。

ウ. 門松用の「松」の伐採防止と緑化の啓発を目的に、緑の保全と緑化の推進という事業目的を共有する八千代市造園建設業組合の協賛を得て、門松カードを作成し、自治会等を通じて全戸に配布しました。

②花苗生産事業

街並みの緑化やボランティア団体の育成等に必要となるサルビアやパンジー等プラグ苗から育成し、灌水・消毒等の管理に努め、サルビア28,000本、小菊10,000本、パンジー28,000本を生産しました。

(2)知識・技術の向上

市民団体等ボランティア活動に必要な花と緑に関するノウハウを習得するための研修などを行い、人材の育成に努めました。

①リーダー養成講座事業

活動に必要な知識・技術を向上させるため、刈払機取扱作業安全衛生教育を進め、グリーンサポーター活動の拡充に努めました。

4. 公益目的事業の安定化に向けて(再掲)

(1) 指定管理者業務の取得(再掲)

公園施設の指定管理者業務の取得に向けて取り組みました。

① 検討事業(再掲)

ア. 指定管理者業務への取り組み

指定管理業務の取得を目指し、公園管理に向けた取り組みの1.実施方針、2.ホスピタリティーの提供(利用者の満足度等)、3.最少の経費で最大の効果を発揮する、4.地域のシンボル・観光資源化(各まつり・観賞会等)、5.協働・交流(ボランティアの育成・団体の自立の視点及び支援)の観点から、内容を検討しました。

(2) 公社の活動拠点の確保(再掲)

公社の活動拠点の確保に向けて取り組みました。

① 検討事業(再掲)

ア. 自社用地の取得

公社の活動拠点となる社屋等の整備に必要な面積を考慮の上、市有地や民有地の情報収集に努めました。また、用地の取得と施設整備にあっては基本財産の有効活用を図り、平成30年度を目指し対応を図ることとしました。

イ. 自社施設の整備

社屋等、自社施設の整備にあっては、用地の確定を待って用地の形状に見合った配置等の検討をすることとし、「自社用地の取得」の一環とすることで、事業の整理統合を図ることとしました。

5. 経営基盤の強化(再掲)

(1) 収益事業の確保(再掲)

公益法人として、公益目的事業の新たな取り組みや既存事業の安定化に向けて、経営基盤の強化に努め、社会的信頼性の確保を図るとともに体制の強化に努めました。

① イベント等による収益金の確保(再掲)

5月に開催された「緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ」や、10月に開催された公民館まつりに参加するとともに、花のフェスティバルとして実施した、7月の「ユリまつり」、9月の「彼岸花まつり」、3月の「スイセンまつり」を通して、募金活動を行いました。

また、募金に協力していただいた方には花苗等をプレゼントしました。

(2) 花と緑の基金の造成(再掲)

花と緑の基金の当面の目標額として設定した6億円の早期造成を図るため、市民や企業などへのPRを積極的に行い、基金の確保に努めました。

① 花と緑の基金の造成事業(再掲)

多くの市民や団体等から1,781,100円の寄附金、また、イベント等による収益金の確保として569,609円の募金、合わせて2,350,709円のご協力をいただきました。

なお、低金利情勢が続く中、寄附金等の2分の1は花と緑の基金に積み立て、安全で有利な運用益が得られる方法で基金の管理運用に努めることとし、残りの2分の1は、公益目的事業の必要財源として活用しました。

Ⅲ 収益事業等

1. 良好な環境維持

(1) し尿収集業務

市民の快適な生活環境を保全し，環境衛生の向上を図るため，八千代市からの受託業務であるし尿収集運搬業務を行いました。

① し尿収集運搬事業

公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により，収集件数は年々減少傾向にある中で，効率的な執行体制の下で各家庭等の収集業務を行い，快適な生活環境の維持に努めました。

し尿収集運搬事業の実績

区 分	年間収集件数・量	備 考
人 頭 制	3,780 件 708 kℓ	一般家庭汲み取り 1 箇月 315 件 59 kℓ
従 量 制	2,916 件 804 kℓ	店舗，事業所等汲み取り 1 箇月 243 件 67 kℓ
合 計	6,696 件 1,512 kℓ	1 箇月 558 件 126 kℓ

参考 ※人頭制及び従量制の1箇月の汲み取り件数の推移

区 分	H 27	H 26	H 25	H 24	H 23
人 頭 制	315 件	349 件	389 件	414 件	439 件
従 量 制	243 件	256 件	269 件	264 件	264 件

IV その他

1. 公益目的事業の安定化に向けて

(1) 指定管理者業務の取得

公園施設の指定管理者業務の取得に向けて取り組みました。

① 検討事業

ア. 指定管理者業務への取り組み

指定管理業務の取得を目指し、公園管理に向けた取り組みの1. 実施方針、2. ホスピタリティーの提供(利用者の満足度等)、3. 最少の経費で最大の効果を発揮する、4. 地域のシンボル・観光資源化(各まつり・観賞会等)、5. 協働・交流(ボランティアの育成・団体の自立の視点及び支援)の観点から、内容を検討しました。

(2) 公社の活動拠点の確保

公社の活動拠点の確保に向けて取り組みました。

① 検討事業

ア. 自社用地の取得

公社の活動拠点となる社屋等の整備に必要な面積を考慮の上、市有地や民有地の情報収集に努めました。また、用地取得と施設整備にあっては基本財産の有効活用を図り、平成30年度を目指し対応を図ることとしました。

イ. 自社施設の整備

社屋等、自社施設の整備にあっては、用地の確定を待つて用地の形状に見合った配置等の検討をすることとし、「自社用地の取得」の一環とすることで、事業の整理統合を図ることとしました。

2. 経営基盤の強化

(1) 収益事業の確保

公益目的事業の新たな取り組みや、既存事業の安定化に向けて、経営基盤の強化に努めました。

① イベント開催による収益金の確保

5月に開催された「緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ」や、10月に開催された公民館まつりに参加するとともに、花のフェスティバルとして

実施した，7月の「ユリまつり」，9月の「彼岸花まつり」，3月の「スイセンまつり」を通して，募金活動を行いました。

また，募金に協力していただいた方には花苗等をプレゼントしました。

区 分	募金額	備 考
緑が丘ローズハーツ ふれあいフェスタ	8,524 円	花苗：255 株 (金魚草・ミント・トレニア) カエルの竹細工
ユリまつり	49,328 円	花苗：(マリーゴールド等) 竹細工 やっちストラップ(56 個)
彼岸花まつり	53,922 円	花苗：(小菊，サルビア)，竹細工 やっちストラップ(55 個)
スイセンまつり	93,185 円	竹細工，やっちストラップ(78 個) やっちのぬいぐるみ(9 個)
公民館まつり	349,536 円	花苗：2,673 株 (ナデシコ・ビオラ・小輪パンジー) 球根：625 袋(1,875 球) (チューリップ<黄・赤・桃>)
常設募金箱	15,114 円	
合 計	569,609 円	

②花苗生産事業(再掲)

街並みの緑化やボランティア団体の育成等に必要となるサルビアやパンジー等プラグ苗から育成し，灌水・消毒等の管理に努め，サルビア 28,000 本，小菊 10,000 本，パンジー 28,000 本を生産しました。

(2)花と緑の基金の造成

花と緑の基金の当面の目標額として設定した6億円の早期造成を図るため，市民や企業などへのPRを積極的に行い，基金の確保に努めました。

①花と緑の基金の造成事業

多くの市民や団体等から1,781,100円の寄附金，また，イベント等による収益金の確保として569,609円の募金，合わせて2,350,709円のご協力をいただきました。

なお，低金利情勢が続く中，寄附金等の2分の1は花と緑の基金に積み立て，安全で有利な運用益が得られる方法で基金の管理運用に努めることとし，残りの2分の1は，公益目的事業の必要財源として活用しました。

平成 27 年度の花と緑の基金造成実績

(単位：円)

区 分	収入額	公益目的事業の財源	積立額
寄 附 金	1,781,100	890,550	890,550
募 金	569,609	262,804	306,805
計	2,350,709	1,153,354	1,197,355

資産の状況(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

区 分	基 本 財 産	花と緑の基金	合 計
資 産	367,940,000	588,591,891	956,531,891

(3) 自主事業活動基金の活用

花と緑の基金の醸成はもとより、自主事業活動基金の P R に努め自主事業活動の安定化を図りました。

① 自主事業活動基金の造成

公益目的事業の円滑な推進と安定した財団の運営を図るため、賛助会員の確保に努めるほか、講習会やイベント等を通じて、賛助会員の加入促進に努めました。

なお、賛助会費収入 470,000 円のうち 240,000 円を自主事業活動基金に積立てたほか、残りは公益目的事業の財源として活用しました。

(単位：円)

区 分	収入額	公益目的事業の財源	積立額
賛 助 会 費	470,000	230,000	240,000

(4) 企業や団体等への協賛の働きかけ

公社における公益事業活動の周知に努め、多くの協賛が得られるよう働きかけを行いました。

① 企業協賛活動

ユリやスイセンなど花の開花時期に合わせた観賞会へのご案内文と併せ、多くの企業団体等の協賛が得られるよう賛助会員加入の働きかけを行いました。

3. 社会的信頼性の確保

(1) 受託業務の確保と着実な執行

P D C A からなるマネジメントサイクルの実践による事業の着実なる執行に努め、公園管理等のノウハウについてスキルアップを図り、受託事業の確保に努めました。

① 検討事業

ア. 公園等管理業務の確保

し尿収集運搬事業を市から受託し、効率的な執行に努めたほか、公園維持管理業務について、市民団体等との協働を基調とした公園等の美化活動の実績を積み、職員のスキルを高めたうえで、指定管理業務として確保することを検討しました。

また、新川千本桜の育成活動事業にあっても市からの受託事業化に向け検討しました。

(2) 地域との連携

地域に密着した公社として、校区や地域などのコミュニティネットワークとの結びつきを深めます。

① 検討事業

ア. 地域の個性を尊重した公園づくり

地域住民等ボランティアに対する支援を行い、地域の個性を尊重した公園づくりによる花と緑の活動の取り組みに向けて、コミュニティ推進計画を尊重しつつ、緑化推進事業助成金を活用し取り組むことなどその方策を検討しました。

(3) 各種メディアの活用

季節ごとに楽しめる花の名所として地元紙や報道機関へ紹介、また、市とタイアップし市の観光政策につなげました。

① メディアの活用した情報発信

村上緑地公園でのユリまつりや彼岸花まつり、また、萱田地区公園におけるスイセンまつりのチラシの配布だけではなく、公社ホームページにおいて、スイセン・ユリ・彼岸花の開花情報を随時に発信しました。

また、地域新聞への掲載をはじめ、新たに産業政策課より千葉県観光物産協会のホームページへ発信の枠を広げました。

このほか、機関紙の発行においても公社の取り組みについて、情報発信しました。

4. 経営計画を支える執行体制の確立

(1) 中期的な職員採用

公社の今後の運営にあたり、事業量等から中期的な採用プランを策定します。

① 検討事業

ア. 職員採用プランの策定

市の事業仕分けを契機とする市からの支援が厳しい中、業務の効率化の観点から2課体制を廃止し、1局集中体制に変え業務体制を整えました。

また、中期的な採用プランを策定することとしましたが、平成28年度から実施する経営改善計画の集中改善期間にあっては、退職者不補充とし、当面は臨時職員等により対応を図るべく、実施計画の計画事業から除くこととしました。

(2) 人材育成

業務に必要となる資格取得支援について積極的な利用を呼びかけ、職員のスキルアップを図るとともに、公園管理業務に必要な講習会への参加に努めました。

① 資格取得等支援事業

職員のスキルアップを図るとともに業務に必要となる各種資格の取得を図るため、積極的に各種講習会等の参加に努めました。平成27年度は高所作業車の運転技術の資格取得について支援を行いました。

区分	主催者	講習会・研修会及び試験	参加人数
3月2日 ～3日	佐倉クレーン学校 佐倉校	高所作業車運転技能講習	1人

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」)については、事業報告書に記載のとおりです。